

新人教育研修

サービス提供責任者：教育プログラム1年から3年計画
ホームヘルパー：利用者様を担当できるまで計画

中途教育研修

教育プログラム1年から3年計画（サービス提供責任者経験者の場合は業務実施状況をチェックリストを用いて確認し、出来ていないところを学ぶ）

年間研修スケジュール

次ページ参照

人材育成について

- ヘルパー業務に関しては、先輩職員が同行し、独り立ちできるまで指導しています。重要視しているのは、「ご自身が自信をもってから」独り立ちをしてもらうようにしています。
- サービス提供責任者の業務としては、計画書の作成やモニタリングなど先輩職員が丁寧に教えます。事業所内の業務を習得したのち、ケアマネジャーとの情報連絡や利用者の受け入れ調整までを指導していきます。


訪問介護サービスセンターエル 教育体制

サービス提供責任者：教育プログラム1～3年計画

		1年目	2年目	3年目
前期	1ヶ月目	<ul style="list-style-type: none"> 入職日：オリエンテーション 訪問介護を理解する 同行訪問/実施記録の書き方 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネとの折衝 担当者会議の出席 1年目で学んだケアマネとの情報連絡のやりとり、ケアマネとの折衝の確認。 担当者会議へ先輩職員と同行し、その時の発言やサービス内容確認のやり方を確認。	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険と障害福祉のレセプトの携わり 介護保険と障害福祉の精度・仕組みを理解し、レセプトの手伝いができるようになる。
	↓ 半年経過	<ul style="list-style-type: none"> 利用者とのコミュニケーション 情報連絡票/介護計画書/サービス提供票の見方を学ぶ 		
		<ul style="list-style-type: none"> 電話の対応（話し方、取次の仕方） サ責としての事務作業（提供票のチェック、サービス提供記録や情報連絡票の書き方を学ぶ） 		
		家事支援の実施内容のチェック（先輩職員にやり方をチェックしてもらう）		
		身体介護の実施内容のチェック（先輩職員にやり方をチェックしてもらう）		
		ケアマネとの折衝（利用者のサービス内容の調整）、担当者会議の出席同行		
後期	↓ 1年経過	担当者会議への単独出席	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント及びモニタリング、訪問介護計画書の作成 サービス提供記録、訪問介護計画書の作成、モニタリングの入力等、サ責が行う事務が指示なくできる。	<ul style="list-style-type: none"> エルミーティングでの勉強会の講師を実施し、ヘルパー現場指導及び新人教育の実施 勉強会の準備を行い、講師としてヘルパーに指導できるようになる。
		ヘルパーへの現場指導		
		新規契約の業務・調整		
		退院カンファレンスの携わり		
		シフト調整の携わり		
		1年間で学んだことの総チェック		

訪問介護サービスセンターエル 教育体制

ホームヘルパー：利用者様を担当できるまで

	流れ
初日	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション（身だしなみ、利用者様との接し方、プライバシー保護、緊急時対応、訪問介護でやってはいけないこと事例等）・訪問介護を理解する・先輩職員と同行訪問し、訪問介護のノウハウを学ぶ・サービス提供記録の書き方
	
独り立ち	先輩職員との同行を継続し、独りで訪問サービスを行うことができると判断された後、単独での訪問となります